

鹿児島森林管理署交渉（全国林野関連労働組合鹿児島森林管理署分会）

議 事 要 旨

1日 時：令和3年3月29日（月）12：30～13：00（30分）

2場 所：鹿児島森林管理署 会議室

3出席者：

鹿児島森林管理署
同
同

永山 正一
久保田 修
煤本 憲三

署長
次長
総括事務管理官

全国林野関連労働組合鹿児島森林管理署分会

同
同
同
同
同

小島 洋一
藤川 晃久
和田 弥己
松本 慎剛
園田 泰夫

執行委員長
副執行委員長
副執行委員長
書記長
執行委員

4交渉事項

1. 令和3年度の業務運営について

5議事概要

1. 令和3年度の業務運営について

組合） 署の森林資源の状況や職場の人員など現場の実態や署の実行体制を踏まえた収穫量、生産量、販売量とすること。また、職員に過度な負担が掛からないようにすること。

当局） 令和3年度の業務運営については、資源量や要員規模を踏まえ計画・実行して参る所存である。事業を進めるに当たっては、一部の職員が労働過多とならないよう各グループ、非常勤雇用、署内全体でフォローし取り組むことから、引き続き貴組合のご協力をお願いしたい。

組合） 森林整備を進めるための事業運営経費・収穫調査委託経費・林道の維持修繕予算など必要な予算を確保すること。

当局） 森林整備を進めるための必要な予算については、必要に応じ上局へ予算要求するなど予算の確保に努めたい。

組合） 非常勤職員予算、庁費、旅費等、共通費予算の確保と事業実行体制を確保すること。

当局） 業務に必要な旅費・超勤予算については、必要な予算を上局へ上申して参りたい。

ただし、超勤については、縮減させることが重要と認識しており、業務の進捗状況を把握し、業務の効率化を図る等、超勤の縮減に努めて参りたい。超勤については、業務の進捗状況の把握、見通しを踏まえ、一人の職員に負担がかからないよう、フォローして参りたい。

組合） 来年度の空席ポスト（事務管理官（管理））についてどのように事業を進めるのか。事務管理官（管理）については、対外的な対応など地域技術官と2年目の一般職員では荷が重いのではと思う。対外的な案件など内容によっては総務総括等のきめ細かなフォローが必要である。

当局) 空席ポストの解消は、機会ある毎に上局へ申し入れをしているが、大変厳しい状況にあると認識している。空席ポストの要員要求については、当署の実態等を上局に説明するなど必要な要員の確保に向け上局へ上申して参りたい。また、業務の具体的な進め方については、総括等によるフォロー及び他の職員による業務の応援体制を構築するなど対応して参りたい。

組合) 令和3年度組織定員改正による森林整備官減の担当ポストは何か。

当局) 上局へ確認し回答したい。

組合) 桜島民直治山事業については、他地区の民直事業のような森林管理局の応援がほぼ無いなかで、一般職員が大きな責任を負いながら1件1億、2億という大きな事業を監督していかなければならない。治山事業経験者を優先的に配置すべき署と考えるが実態はそうっていない。空席となっている治山技術官の配置を強く求めるとともに他の職員が労働過重とならないよう対策を講じること。

当局) 一般職員が森林整備官や治山技術官の業務を担い、大きな負担とならないよう研修や上司のしっかりとしたフォローなど目配り気配りをしながら、進めていきたい。なお、国有林の使命が十分果たせるよう引き続き空席ポストの解消については上局へ伝えていく。